

視点

紙芝居が育てるいのちと生きる力 —三つ子の魂百まで—



埼玉東萌短期大学幼児保育学科
学科長・教授 正 司 顯 好

幼児教育における紙芝居の果たす役割について考えます。アンデルセン、グリム、イソップ等の童話は海外から入ってきた文化ですが、紙芝居は昭和5年頃、街頭紙芝居として日本で誕生しました。自転車の後ろに積んだ舞台上で水飴などを売りながら、手作りの紙芝居を空地や道端などで演じる街頭紙芝居は、当時全国的に広がりを見せていました。当時は娯楽の色彩が強いものでしたが、時代の流れの中で国策紙芝居に利用されたりもしました。やがて教育紙芝居が優れた紙芝居作家たちによって作られるようになりました。紙芝居は、これまで約90年の歴史を持つ日本固有の児童文化財です。

紙芝居は舞台を使うことで、作品世界が舞台から放たれ現実世界へ飛び出し、観客である子ども達に共感の世界を広げていきます。絵本と違って30人や40人など大勢で楽しむのに適しています。ところが、保育者234名を対象とした紙芝居に関するアンケート調査を行ったところ、80.3% (234人中188人)の保育者が舞台を使わないで絵本と同じように手持ちで紙芝居を演じているということが明らかになりました。何故そのようなことになっているのでしょうか。その理由を調査(複数回答可)したところ、1位が「園内に舞台が無い(82人)」2位が「舞台が無くても手で持って固定すれば演じられる(67人)」という結果になりました。さらに回答内容(複数回答可)を見ると学生の時、保育者養成校で紙芝居と絵本それぞれの特性と違いについて学んだ記憶がないという保育者が44.4%(104人)と5割弱になりました。これは幼児教育の現場で紙芝居の特性が生かすことが出来ていない大きな理

由の一つであると考えられます。保育者養成校側にこれから考えていただきたい課題でもあります。

初めて紙芝居を見た海外の絵本作家たちは、強い関心と興味を示します。フランス、スペイン、ドイツ、インド、中国、韓国、ベトナム等世界各国で紙芝居の講座や研究会が開催されていますが、海外の絵本作家や編集者、研究者たちは、紙芝居の実演者に対して「今、あなた魔法をかけたでしょう！」などと驚きの声を上げます。絵本は、絵と文字が同じページに描かれ背表紙で閉じられているのに対し、紙芝居は、表が絵で、裏が文字(脚本)になっており、1枚1枚バラバラの形式になっています。紙芝居のような児童文化財は見たことがないので「是非、自分も作ってみたい」という海外の絵本作家も少なくないのです。

紙芝居の演じ方を学び、作品理解を深め、参加者が意見交換し交流する場として紙芝居サミットが開催されます。昨年に引き続き、文化庁、埼玉県、埼玉県教育委員会、全埼玉私立幼稚園連合会、埼玉県文化団体連合会等の後援をいただき、今年も「第22回紙芝居サミット」が開催されます。特別講師として、紙芝居「ひよこちゃん」や絵本「こぎつねコンとこだぬきポン」など生涯にわたり200点を超える作品を世に送り出している二俣英五郎先生を招いて、それぞれの作品に込められた二俣先生の思いを語っていただきます。

幼児教育の現場で保育者から子どもたちに手渡された言葉と感動は、心の財産になり生きる力につながることでしょう。紙芝居は、そこでも大きな役割を果たせる児童文化財だと考えます。

新幼稚園教育要領のポイント

國學院大學・教授
神長美津子

平成 29 年 3 月 31 日、新幼稚園教育要領が告示されました。新幼稚園教育要領の第 1 章総則部分は、小学校以上の学習指導要領の項立てと共通となり、他の学校種の教員が読んでもわかる書き方をしています。以下、そのポイントを解説します。

○幼児教育で育みたい資質・能力の明確化

今回の改訂では、新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえ、幼児教育から高等学校教育までの学校教育で育成すべき資質・能力の 3 つの柱として、「生きて働く知識・技能の習得」「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」を考えています。幼稚園教育要領では、これに沿って、幼稚園教育において育みたい資質・能力として、豊かな体験を通じて、感じたり、気付

いたり、分かったり、できるようになったりする「知識・技能の基礎」、気付いたことやできるようになったことを使いながら、考えたり、試したり、工夫したり、表現したりする「思考力・判断力・表現力の基礎」、心情・意欲・態度が育つ中で、よりよい生活をつくり出そうとする「学びに向かう力・人間性等」の 3 つの柱を示しています。

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」10 項目の明確化

これらの資質・能力は、第 2 章に示すねらい及び内容に基づく活動の全体を通じて育むものであり、その結果幼稚園修了時に見られる幼児の具体的な姿として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の 10 項目を示しています。「健康な心と身体」「自立心」「協同性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社

地域で愛される園になるためのサポートブック

園のリーダーのために

保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格 926 円＋税
B5 判 72 ページ

2017 年 6 月号の主な内容

- 大特集 コーチング大特集 職員のすぐれた能力を生かす
これからの園を強くしていくのは、自分で行動できる自立性の高い職員です。園のリーダーである皆さん、「コーチング」というスキルで、職員一人ひとりのすぐれた能力の生かし方を考えてみませんか。
- 0・1・2 歳 非認知能力を高める保育者のかかわり 子どものエピソードを通して、非認知能力を高めるための保育者のかかわりをみていきます。今回取り上げた「忍耐力」は、育て急ぎは逆効果だと言います。
- スピーチ道場 ～あなたの言葉で園をもっと輝かせよう！～ 何かを発信する時には「なぜ」「どうやって」「何を」の順で話すと効果的です。今月は「行事について伝える」をテーマにしたスピーチをご紹介します。



ISBN978-4-577-81411-6

786

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育事業部営業本部まで

キンダーブックの **フレール館**

会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との関わり・生命尊重」「数量・図形、文字等への関心・感覚」「言葉による伝え合い」「豊かな感性と表現」です。これらは、5領域に基づいて教育課程を編成し、総合的に指導することを通して育まれるとともに、幼稚園修了時の幼児の具体的な姿であり、教師が指導する際に、参考にするものです。今後、各幼稚園において、各項目について修了時の幼児の姿をおさえながら、それらの姿を手がかりにしてカリキュラム・マネジメントをし、教育の質の向上を図ることが必要です。

○幼児理解に基づいた評価の考え方を明示

これまでの幼稚園教育において大切にしてきた、幼児一人一人のよさや可能性を把握し指導の改善を図るといふ、幼児理解に基づく評価の考え方について、改めて幼稚園教育要領上で示しています。各幼稚園においては、評価の信頼性や妥当性を図りながら、次年度や小学校等にその内容が適切に引き継がれていくことが必要です。

○現代的な諸課題に沿って教育内容の改善・充実

近年の子どもの育ちに関わる現代的な諸課題に沿って教育内容の改善・充実を図っています。たとえば、領域「健康」では「多様な動きを経験する中

で、身体の動きを調整するようにすること」、領域「人間関係」では「諦めずにやり遂げることの達成感や前向きな見通しをもって自分の力で行うことの充実感を味わうことができるようにすること」、領域「環境」では「正月、わらべ歌や伝統的な遊びなど我が国や地域社会における様々な文化や伝統に親しむこと」、領域「言葉」では「言葉の響きやリズム、新しい言葉や表現などに触れ、これらを使う楽しさを味わえるようにすること」、領域「表現」では「豊かな感性を養う際に、風の音や雨の音、身近にある草や花の形や色など自然の中にある音、形、色などに気付くようにすること」です。

今後、各幼稚園において、改訂の趣旨を受け止め、質の高い幼児教育を提供していくことを期待しています。

新幼稚園教育要領の詳細については、文部科学省のホームページをご覧ください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1384661.htm



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最適な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



平成 28 年度事業報告・収支決算を議決

全日私幼連の常任理事会が4月25日東京・私学会館にて行われました。32人が出席し議長に園尾憲一副会長、議事録署名人に武田正廣常任理事、徳本達之常任理事を選出、議事に入りました。

■行政報告：先崎卓歩文部科学省初等中等教育局幼児教育課長より認定こども園施設整備における安心こども基金の活用について報告がありました。

■審議案件1：平成28年度事業報告承認の件／各委員会委員長等より平成28年度事業報告について説明があり原案通り議決しました。

■審議案件2：平成28年度収支決算承認及び会務監査報告の件／田中辰実総務委員長より平成28年度収支決算および監査報告について説明があり、原案を議決しました。

■報告案件：会務運営報告について／各委員会委員長等より委員会活動状況について報告がありました。

■（公財）全日私幼研究機構からの報告：田中雅道



（公財）全日私幼研究機構理事長より新幼稚園教育要領、PTA しんぶん、機構における評価について報告がありました。

最後に、澤田豊副会長の閉会のあいさつで終了しました。

（総務委員長・田中辰実）

※「私幼時報」2017年4月号3頁 常任理事会の記事タイトルに誤りがございました。（誤）平成28年度→（正）平成29年度 謹んでお詫び申し上げます。

保育力の向上のために

資質向上の取組の証明に

積極的に研修に参加し、その履歴を研修ハンドブックに記録しておきましょう。

監修 公益財団法人 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構

新版 研修ハンドブック

4103501 **756** 円（本体 700 円）

- B6 判
- 120 ページ
- ビニールカバー入り

ご用命はお近くの書店、またはワンダー販売会社まで。

株式会社 世界文化社 ワンダー事業本部
TEL03-3262-5128



日本私立学校振興・共済事業団の融資

幼稚園の経営者のみなさん、こんなお悩みはありませんか？



園舎が古くなったので、安全性を考えて建て替えたい

- 平成29年度 耐震に関する利子助成制度です。ぜひご活用ください！

対 象

- 旧耐震基準の園舎の建て替え
耐震化促進のための補助金の対象となる改築事業

耐震改築利子助成

〔私立学校施設整備費補助金
安心こども基金等〕

- 耐震補強工事・非構造部材の耐震対策事業
防災（耐震）機能強化のための補助金の対象となる改修事業

防災（地震）対策費（耐震改修利子助成）

事業団の融資

この融資制度は
文部科学省から私立学校施設高度化
推進事業費補助（利子助成）を受ける
ことができますので

全借り入れ期間
実質0.5%の
固定金利です。

※融資金利が0.5%以下の場合
利子助成は行われません



融資上限＝補助対象事業費－補助金

※ 補助金の対象となっている事業に
対してご利用いただけます。



給食室を増築したいけど資金が…



- 通常の融資もご相談ください。

低利・固定金利
借入期間はなんと！
最長20年

返済方法は
利息負担の少ない
元金均等返済

融資金利表

平成29年4月12日現在

融 資 費 目	返 済 期 間		
	20年以内 (うち据置2年)	10年以内 (据置年数含む)	6年以内 (据置年数含む)
【一般施設費】 園舎・遊戯室等の建築事業等 並びに園地の買収事業等	年% 0.60	年% 0.31	年% 0.41
【教育環境整備費】 校教具並びに通園バスの購入等	—	0.31	5年6か月以内 (うち据置6か月) 0.31

※融資金利は毎月の金利情勢により変更することがあります。

※上記費目以外にも災害復旧事業、公害対策事業等が対象となります。

日本私立学校振興・共済事業団

融資部 融資課

〒102-8145 千代田区富士見1-10-12

☎ 03 (3230) 7862～7867

✉ yushi@shigaku.go.jp

平成 29 年度

「児童虐待防止推進月間」 標語募集について

厚生労働省では毎年 11 月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、広報・啓発活動を実施しています。

平成 29 年度も、児童虐待問題に対する理解を国民一人ひとりが深め、主体的な関わりを持てるよう、意識啓発を図ることを目的として、標語の募集を行っています。応募方法など詳細は厚生労働省の HP をご覧ください。

■募集期間：4月24日（月）から6月23日（金）

「絵本ガイド」の購入について

全日私幼連・こどもがまんなか PROJECT 企画推進会議発行の「絵本ガイド」は、全国の園に見本誌が配布され、多数の方々が購入されています。

見本誌と共にお送りした案内チラシの裏面に「絵本ガイド」で紹介した絵本 300 冊をプレゼントする企画が掲載されています。ぜひ保護者の皆さまにご紹介ください。

「絵本ガイド」の購入は、園ごとにお取りまとめの上、特設サイト (<https://www.k-ehon.com/>) よりお申し込みください。

■絵本プレゼント応募締切：6月30日（金）

平成 29 年度・経営実態調査の

ご協力をお願いします

経営研究委員会では、本年度も経営実態調査を行います。この調査は、幼児教育の無償化及び新制度への対応など振興活動を行っていくうえで組織として重要なデータとなります。信憑性の高いデータとする為にも、調査の必要性をご理解いただき、回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

また本調査は、全日私幼連 HP を通じ、インターネットより回答いただくことができますが HP から回答する際、ログインする必要があります。本年より、ユーザー名が分からない際には、検索ページを作成致しましたので、ご活用ください（次頁参照）。また、昨年、HP より回答された園においては、同じ設問の場合、昨年の数値が反映されるようになっています。この機能も本年より新たに加えたものとなっておりますので、HP から回答して下さいますと幸いです。

ご提出いただいたデータの取り扱いにつきましては、守秘に万全を期し調査目的以外には使用いたしません。また、調査結果は、本連合会の機関誌や HP 等によりご報告させていただきます。（経営研究委員会委員長・尾上正史）

新刊 動かして遊ぼう！
**びっくり！おもしろ
しかけ遊び**

ねじれた輪ゴムのしかけや、転がるしかけ、曲がるストローのしかけなど、シンプルなしかけで愉快な動きを楽しもう！
不思議な力と触れ合って遊べます。

立花愛子 佐々木伸 著
定価 2,160円(税込) 26×21cm/80ページ
発行・発売 チャイルド本社



● **※ 好評既刊 ※**

- びっくり！おもしろ紙遊び
- びっくり！おもしろ砂遊び
- びっくり！おもしろ空気遊び
- びっくり！おもしろ水遊び
- びっくり！おもしろ光遊び

全日私幼連 平成29年度・経営実態調査 ユーザー名を忘れてしまったときの照会手順

全日私幼連HPトップページより経営実態調査にご回答ください。
ユーザー名を忘れてしまったときには、以下の手順で照会ができます。

1・ページ下部の「ユーザー名を忘れてしまった方はこちら」をクリックします

The screenshot shows the login page for the 2016 survey. At the bottom, a link labeled "ユーザー名を忘れてしまった方はこちら" is highlighted with a dashed box. An arrow points from this link to a larger callout box on the right. This callout box contains the text: "パスワードを忘れてしまった方はこちら" (For those who forgot their password), "一度、回答を登録（一時保存も含む）した場合、ログイン時にパスワードが必要となります。そのパスワードを忘れた方は、上記リンクからパスワード再送信の手続きを踏んで下さい。" (If you have already registered an answer, you will need a password at login. If you forgot it, please use the link above to reset it.), and "ユーザー名を忘れてしまった場合は、上記リンクから照会することができます。" (If you forgot your username, you can inquire using the link above.). A smaller callout box points to the link with the text "ここをクリックします" (Click here).

2・電話番号を入力し、「ユーザー名 照会」ボタンをクリックします

The screenshot shows the "ユーザー名を照会します" (Inquire Username) page. It has a form with a "電話番号" (Phone Number) field and a "ユーザー名 照会" (Inquire Username) button. Below the form, there are fields for "ユーザー名" (Username) and "住所" (Address). Callouts with arrows point to the phone number field with the text "①電話番号を入力します" (Enter phone number), to the inquiry button with "②ユーザー名参照ボタンをクリックします" (Click the username reference button), and to the result display area with "こちらに情報が表示されます" (Information is displayed here). The result area shows "ユーザー名" with a button "ユーザー名を表示します" (Show username) and "住所" with a button "幼稚園の住所を表示します" (Show kindergarten address). A "ログイン画面へ戻る" (Return to login screen) link is at the bottom.

KJ法やICT機器を活用した保育の振り返りと園内研修の手法の提案

1 KJ法等を活用した園内研修の手法に関する実践研究

北見北光幼稚園 吉田耕一郎
○北翔大学 西出勉

(1) 目的

園内研修の活性化については、松山(2011)や大豆生田(2011)、岡(2013)、柴崎(2013)、瀧川(2016)、等が、その意義や効果的な進め方などを報告している。

本実践研究では、KJ法や思考ツールを活用しながら研究テーマを設定することにより、園内研修に対する教員の自分事としての高い参画意識を図ることを目的とした。

(2) 園長への聞き取り調査

園長は、次のような問題意識を持っており、園内研修の在り方について模索していた。

- ① 経験年数の違いやクラスの実態の違いに準拠し、個々にテーマ設定して取り組んだが、園全体が高まっているのか。
- ② 園長や中堅教員の発言の方向にまとまるのではなく、全員が発言できないか。

【園長の願い】

『全員参加の園内研修を目指したい!』

(3) 自分事としての参画意識

参画意識を高めるためには・・・

- ① 教員間のイメージが共有化されること。
 - ・保育実践に関する対話が可視化され、教員同士のイメージが共有されている。
- ② 自分事の研究テーマになっていること。
 - ・自らの保育実践が想像でき、具体的な保育場面をイメージできている。

(4) 思考の可視化と共有化を促すツール

テーマ設定に際して、KJ法等を活用した。

① KJ法の活用

KJ法とは、蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎ合わせて整理し、統合する手法である。

KJ法の活用を通して、一人ひとりの教員が「自分の考えを整理し表現する」というプロセスを経験しながら「比較する」「多面的にみる」「関連付ける」等の思考の枠組みを構築していくことにつながっていく。

② 思考ツール(Xチャート)の活用

頭の中の情報を書き込むための図形の枠組みであり、イメージや情報を外に出すことを促し、視覚化されたものの関係性を見つけやすくする。あえて頭の使い方限定をかけることにより、思考を促す。

◇ ①及び②とも、付箋に教員各自の考えを記述させ、模造紙に貼っていく。

◇ ②はあえてXチャートに貼らせることにより、教員相互の思考の可視化と共有化を促すことをねらいとしている。

(5) 園内研修(テーマ設定)の実際

【第1回研修会：2/4】

<園長の思いや願い>

- ・園内研修のテーマについて、教員同士が同じような問題意識を持っていたのか？
- ・教員はKJ法の手法には慣れていたが、幼稚園全体のテーマ設定の経験はない。

【園長の提案】

『KJ法等を活用して、幼稚園全体の研究テーマをみんなで設定しよう!』

① 今、どんなことが問題なのか?【問い】

- ・自分の学級の子どもについて、「問題に感じている」「困っている」ことを考える。
 - ・子どもたちの現状や幼稚園全体にかかわって、どんな問題があるのか。(中堅教員)
- ② 自らの考えを付箋に記入し、各教員は説明しながら自分の付箋をXチャートに貼っていく。
- ③ 分類した同じ仲間同士の付箋を集め、Xチャート上に貼り直し名前をつける。

【結果】

同じ仲間同士に分類しようとしたが、テーマの設定までには至らなかった。「なぜ?」

【第2回研修会：6/22】

新年度を迎え、新任教員4名が新たに加わったことから、改めて研究テーマの設定について園内研修を行い、次のように整理された。

- ① 集団行動 ② 片付け
- ③ 話の聞き方（子どもの集中力）
- ④ 遊びの悩み（遊びが見つからない！）
- ⑤ 教材研究（園環境の使い方）
- ⑥ 子どもの対応（子どもの同士のトラブル）
（配慮を要する子ども）
- ⑦ 教職員の連携の在り方 ⑧ 病気の知識



- 分類まではできたが、全体の研究テーマとして具体的に絞る段階になって話し合いがまとまらず、時間終了となった。
- 教員一人一人が抱く問題はあったが、全員が「これでいこう！」という雰囲気にはならなかった。 <ネガティブ>

【考察】「なぜ、ネガティブな雰囲気？」

- ◇ 教員の経験年数（年齢構成）による着目した観点、意識のズレが見られた。
 - ・若手教員：問題解決のための方法論
 - ・中堅教員：教職員間の連携、援助の質
- ◇ 教員個々が学びたいことに意識が向きがちとなり、園全体の研究テーマの抽出までには至らなかった。

【第3回研修会：7/22】「問い直し」

<そもそも論からの「問い直し」>

- そもそも私たちは日々、何を目指して保育しているのか？【主語は子ども】
- 子どもたちに、どのようになってほしいのか？どんな力を身に付けてほしいのか？【問いの変換】

□ 「遊びの経験」を大切にしたい保育
【改めて「遊びの質」への着目】

<子どもの遊びの状況>

- ・同じ遊びになりがち、停滞しがち
- ・一人あそびと集団の遊び など
- ◇ 「今一度、研究テーマの設定を・・・。」
「遊びの中で自立心、協同性を・・・。」
- ◇ 『日常会話にある「易しい言葉」で！』

◎ 「子どもたちに〇〇の力を育成したい！」

- A 活発にやりとりする力
- B 遊びをつくりだす力
- C 熱中して遊ぶ力

(7) 教員の感想

- ・付箋に書いた内容を言葉で伝えることができ、主体的にかかわれると思った。
- ・園の方向性を意識することができ、向上

心を持つことができた。

- ・自分たちで話し合いをまとめることが難しかった。

(8) 総括

- 思考の可視化とイメージの共有化
研究テーマの設定プロセスにおいて、KJ法や思考ツール（Xチャート）の活用は思考の可視化や保育イメージの共有化を促し、教員の主体的な参画意識を高めるツールとして有効である。
- 問い直しの重要性 ～「問いの変換」
 - ① 第2回研修会までは、経験年数の違いによる子ども観や保育観の違いが問題意識のズレ、ギャップを生じさせ、納得感や一体感がもてる研修とはならなかった。
 - ② 第3回研修会は、「どのようにすれば問題を解決することができるか？」から子どもを主語に遊びを通して「どんな力を育成したいのか？」という問いの変換により、教員同士の根本的な問い直しによる対話と省察が行われた。
 - ③ 問題解決志向の研修から教員一人一人が子どもの現状を肯定的に捉え、よりよい保育へ視線が向いたことが、参画意識の高まりにつながった。
- 園長のリーダーシップの発揮
教員集団の一メンバーとして「ともに学び合う園長」として参画する一方で、教員相互の思考の質を高める提案や「そもそも論」から見方・考え方を根本的に問い直す発想の提示など、教員集団の実態を踏まえ異なる視点を導入する役割も担っている。

参考文献

- ・松山益代（著）参加型園内研修の進め ぎょうせい 2011年
- ・大豆生田啓友他（著）保育の質を高めるための体制と研修に関する研究報告書 公益社団法人全国私立保育園連盟 2011年
- ・岡健 園内研修が活性化する3つのポイント これからの幼児教育 ベネッセ次世代育成研究所 2013年
- ・瀧川光治 写真を活用した保育の振り返りと園内研修の手法の提案 大阪総合保育大学紀要第10号 2016年
- ・柴崎正行編（著）子どもが育つ保育環境づくり 園内研修で保育を見直そう Gakken 2013年
- ・関西大学初等部 思考ツール 関大初等部式思考力育成法実践編 さくら社 2013年

K J 法や I C T 機器を活用した保育の振り返りと園内研修の手法の提案

2 I C T 機器を活用した映像（写真及び動画）利用の実践研究

○北見北光幼稚園 吉田耕一郎
北翔大学 西出勉

(1) 目的

松山 (2011) や岡 (2013)、瀧川 (2016)、北野 (2016)、片岡 (2016)、河邊 (2016) らは、保育実践の分析的な解釈に映像を利用することの有効性を報告している。

本研究は、直近の保育をすぐに映像提示して進める手法と効果を探ることとした。

(2) I C T 機器の選定

選定条件

- ・写真及び動画を使用できること
- ・映像の共有が容易にできること
- ・操作が直感的でわかりやすいこと

(3) 機器の準備

インターネット環境、無線 LAN ルーター、ipod touch (カメラ機能付き) など、ディスプレイ、Apple TV

(4) I C T 機器の使用環境整備

airdrop、airplay 共通設定

①wi-fi 化

無線 LAN ルーターの設置

②個別使用機器の設定

wi-fi 設定画面から使用空間に設置した無線 LAN ルーターを選択。

airplay の場合

①ディスプレイと「Apple TV」

大型液晶ディスプレイと「Apple TV」という機器を接続する。

②個別使用機器の設定

(5) I C T 機器の基本操作

airdrop の場合

①送信者は送信する写真を選択し (写真の複数選択可能)、airdrop に表示されたリストから送信したい相手をタップ (送信者の複数選択可)。

②使用する写真を特定する

Airplay の場合

①写真の画面で airplay をタップ。

②送信者機器の写真がリアルタイムでディスプレイに映し出される。

③写真のスワイプ (次々と写真を映し出す)、ピンチアウト (拡大)、ピン

チン (縮小) が可能。

(6) I C T 機器を活用した研修の実際

第1回目 機器の設定と airdrop 体験
機器の設定方法を周知するとともに、機器になれることを主眼に実施した。
まとめ

- ・スマホ操作に慣れおり、設定や機能操作方法も、1回の説明で理解。
- ・Airdrop を体験し、写真を共有させることも容易に行う。
- ・情報共有方法が簡単。互いのデバイスだけで済む。
- ・少人数の情報共有に適している。
- ・大人数だと、説明者がどの映像を利用するかを指定し、それを探す手間がかかる。特に似たような写真がある場合は尚更となる。
- ・デバイス画面が小さい。
- ・自分のデバイス画面を見ており、説明者の方を見ることは少ない。
- ・映像のどの部分の説明・質問なのかを伝えづらい。

第2回目 airplay を使用した園内研修
機器の設定方法を周知、及び、映すことと伝えることの体験を主眼にした。

まとめ (感想も含めて)

- ・設定や機能操作方法も、1回の説明で理解。
- ・例えばブロックで遊んでいる場面などは、より伝わりやすい。
- ・伝えたいことやライブ感が伝わる。
- ・実践方法が具体的に伝わる。
- ・説明者が伝えたい部分以外の全体が見え、他の先生の気付きも提供。
- ・子どもの表情がわかる。
- ・遊びの一連の流れがわかる。
- ・同じものを見ながら、説明者の説明が聞ける。また、映像のどの部分かを示しながら質問ができる。
- ・説明者は伝えたい意図を整理しておく事が必要。

- ・次回は以下の視点で映像を残し、研究に使用する事とした。

【関心を持つ場面】

- ・話題、活動、役割など
- ・ここにある何かに関心を見出した時
- ・見知っているものを見つけた時
- ・見知らぬもので、遊んでいる時
- ・通常とは違う変化に、ついて行こうとした時

【熱中している場面】

- ・一定の時間、注意を持続した時
- ・心地よさを感じている時
- ・誰かに信頼を寄せている時
- ・他の人やものに遊び心を発揮した時

【困難に立ち向かっている場面】

- ・難しい課題を課し、選んだ時
- ・難問にぶつかった時
- ・問題を解決するために、いろいろな工夫を凝らしている時

【考えや気持ちを表現している場面】

- ・言葉、ジェスチャー、音楽、造形、文字、数、お話
- ・いろいろな手段で、表現している時

【助け合う行動が見られる場面】

- ・他の人やお話や想像上の出来事→「公平さ」「誇り」「助け合い」
- ・「クラスの生活を守る」ように応答する

第3回目 伝えたい意図を整理して映像を準備するとともに説明する力をつけることを主眼にした。

まとめ（感想も含めて）

- ・聞きやすい。
- ・発表者の意図が分かりやすい。
- ・何を考えたらいいか、焦点を絞りやすい。
- ・質問しやすい。
- ・考える適当な間があってよい。
- ・事前に問を立てておくと、活発な意見が出るのではないか。
- ・一人説明10分、討議20分 合計30分の研究発表協議が可能。

(7) 感想

・生の情報を読み取ることができ、その場ですぐに聞きたいことや疑問が浮かび上がってきた。

・遊びの経過を連続写真で伝えられるので、分かりやすい。

- ・発表者自身も写真を見て、新たな読み取りができた。
- ・映す視点、発表者の問が明確になると、話し合いが深まる。
- ・話のまとめ方、進め方は今後も修練していく必要を感じた。

(8) 総括

apple 製品の機能を活用すると、直近の映像を研修に利用することは容易であった。

機能によって、使い分けができることがわかった。airdrop は少数での研修に利便性があり、airplay は大人数での研修に向いているということである。

動画は wi-fi では不安定なので、アダプターを使用して、ディスプレイに直接 HDMI 接続すると安定することがわかった。

保育を語る力を強力に支援するツールであること。

子どもの内面を読み取る力を全教員で高め合うことができるツールであること。

映像を切り取る際に、視点を共通に持つて行くと、伝わりやすいことがわかった。

参考文献

- ・松山益代（著）「参加型園内研修の進め」ぎょうせい 2011年
- ・岡健 園内研修が活性化する3つのポイント これからの幼児教育 ベネッセ次世代育成研究所 2013年
- ・瀧川光治 写真を活用した保育の振り返りと園内研修の手法の提案 大阪総合保育大学紀要第10号 2016年
- ・北野圭子他 遊びの見取りや見通しのための園内研究 (4) 日本保育学会第69回ポスター発表 2016年
- ・河邊貴子 保育記録と園内研修を活用して園全体の非認知能力を育む これからの幼児教育 ベネッセ教育 総合研究所 2016年
- ・片岡章彦他 写真を使った個人記録のあり方 第6回幼児教育実践学会 私幼時報 2016年

オールとちぎの取り組み

栃木県には、県所管の幼児教育センターが15年前から設置されており、センターの指導主事が、幼小連携の推進や各園の園内研修アドバイザーなど、幅広く力を貸してくれています。

また、当連合会には全国で唯一、国立大学法人宇都宮大学附属幼稚園が加盟しており、公開保育をはじめ、研究会、講師派遣など、多大な協力を頂いています。

県も国立も私立も公立も自治体も一致協力して幼児教育を推進し、質の向上のために惜しみなく力を注いでいます。このオールとちぎの取り組みは、他県にはない強みであると自負しています。

今年度は、平成30年度の新幼稚園教育要領の全面実施を見据え、改訂の趣旨や内容の周知・徹底のために各々で研修会を計画しています。設置者から若い教員に至るまで、各々に必要な視点で学ぶことができる機会を提供できることは、本県の幼児教育の質の向上に繋がっていると確信しています。

教員の資質向上は、子どもたちのため、未来の日本のためです。そのために栃木県の恵まれた幼児教育資源に感謝しつつ、最大限に活用すること、そして今後も1つの施設も欠けることなく、オールとちぎで邁進していきたいと考えています。

((一社) 栃木県幼稚園連合会教育研究委員長、
下野市・愛泉幼稚園／小倉庸寛)

幼稚園と認定こども園の連携の在り方

新年度が始まり園内にはこどもたちの元気な声と、この時期ならではの泣き声に包まれています。

子ども子育て支援新制度のスタートから2年が経過し、来年からは幼稚園教育要領の改訂などここ数年の幼稚園を取り巻く環境の変化に戸惑いながらも「こどもがまんなか」の制度となるよう、小さな団体ですが力を合わせているところです。徳島県は協会加盟園が全国最小規模で、現在加盟園10園のうち幼保連携型認定こども園が2園、施設型給付を受ける幼稚園が3園と従来からの私学助成を受けている園と新制度移行園がちょうど半々という状況です。当園も現在施設型給付を受ける園ですが、来年度より県内初の幼稚園型認定こども園への移行を計画しています。また、県内の新設及び保育所からの幼保連携型認定こども園数は公立11園、私立17園と着実に移行数が増えている状況です。ただ県都徳島市では待機児童対策として認定こども園が乱立(?) 気味に認可されていて、保育の質の確保より施設確保に重きを置いている感が否めません。そんな中、当協会も昨年徳島県私立幼稚園・認定こども園協会と改称しました。現在は学校法人由来の幼稚園・認定こども園のみの構成ですが、今後、学法由来以外のこども園と研修等交流をどう進めていくべきかが課題となっていくように思われます。ただ、われわれ協会としましては幼児教育を担う第一人者としての気概を持ち、平成最後の年、時代の区切りとなる今年を進んでいきたいと考えています。

(徳島県私立幼稚園・認定こども園協会監事、阿南市・はのうら幼稚園／木内啓嗣)

編集後記

私は2歳の娘を育てる子育て世代です。自分の子育てに迷いや不安を抱えています。これまで、家庭教育を支えてきた地域のコミュニティは変容し、核家族化により、人の繋がりが希薄になって、先人の体験、良い手本に触れる機会が減少しています。私は園に通う保護者と交流があるため、皆さんと子育てのお話をする中で、自分の子育てを見直す良いきっかけになっていますし、心強く感じています。こういった同じ目標を持った人同士が顔を合わせ子どもの頃の原風景や体験を共有す

ることが、子育てへの不安を喜びに変える力になるのではないのでしょうか。

子育てが多様化していく中で、安心して子育てができる社会の実現のためには既存の形式的なコミュニティでは限界があると思います。幼児教育機関が子育て世代のコミュニティ形成のため、どんなことができるのだろうか、今日も保護者の皆さんとの子育て談義を楽しんでいます。

(調査広報委員・宮澤公大)

平成29年度(第4回) 免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 札幌市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月26日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	佐藤 貴虎(旭川大学短期大学部幼児教育学科教授) 糸田 尚史(名寄市立大学保健福祉学部社会保育学科教授)	6時間	平成29年7月25日	500人	平29-80012-100808号
神奈川県 相模原市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお本講習は、7月30日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	久保田 力(相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授) 七海 陽(相模女子大学学芸学部子ども教育学科准教授) 齋藤 正典(相模女子大学学芸学部子ども教育学科教授)	6時間	平成29年7月31日	100人	平29-80012-100809号
大阪府 大阪市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月24日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	中橋 美穂(大阪教育大学教員養成課程学校教育講座准教授)	6時間	平成29年7月25日	100人	平29-80012-100810号
福島県 郡山市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月27日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	高橋 昇(原釜幼稚園園長、仙台青葉学院短期大学こども学科非常勤講師、近畿大学豊岡短期大学通信教育部非常勤講師) 折笠 国康(郡山女子大学短期大学部幼児教育学科講師)	6時間	平成29年7月26日	50人	平29-80012-100811号
宮城県 仙台市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月17日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	大迫 章史(仙台白百合女子大学准教授) 磯部 裕子(宮城学院女子大学教授)	6時間	平成29年7月16日	100人	平29-80012-100812号
石川県 金沢市	「学校を巡る近年の状況の変化」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」について、教員に求められる最新の知識・技能の習得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月28日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	宮下友美恵((公財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究修委員、静岡県立大学短期大学部非常勤講師、常葉学園短期大学非常勤講師、学校法人静岡豊田学園静岡豊田幼稚園園長)	6時間	平成29年8月29日	150人	平29-80012-100813号
山形県 山形市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は9月10日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	大桃 伸一(東北文教大学教授) 永盛 善博(東北文教大学短期大学部准教授)	6時間	平成29年9月9日	60人	平29-80012-100814号
埼玉県 さいたま市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月1日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	福山多江子(東京成徳短期大学教授) 平田 智久(十文字学園女子大学名誉教授)	6時間	平成29年7月15日	100人	平29-80012-100815号

東京都千代田区	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の4つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月24日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	黒田秀樹（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員会専門委員、東京紫短期大学講師、西南学院大学短期大学部非常勤講師、学校法人黒田学園さらさら星幼稚園理事長・園長） 宮下友美恵（（公財）全日本私立幼稚園幼児教育研究機構研究研修委員長、静岡英和学院大学短期大学部非常勤講師、常葉学園短期大学非常勤講師、学校法人静岡豊田幼稚園園長）	6時間	平成29年7月23日	150人	平29-80012-100816号
---------	--	--	-----	------------	------	-------------------

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道札幌市	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」の2項目について、幼稚園教諭に求められる最新の知識の修得と今日的な教育的課題についての理解を深めることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。なお、本講習は7月25日開催の必修講習と連続して行うものです。	平野 良明（札幌国際大学人文学部心理学科教授） 吉田 耕一郎（北翔大学非常勤講師、北見北光幼稚園理事長・園長）	6時間	平成29年7月26日	500人	平29-80012-301668号
神奈川県相模原市	本講習では、家庭・学校・地域とどのように連携を取り、共に知恵と力を合わせて子どもの育ちを支えていくのかを学ぶ。平成30年から施行される予定である幼稚園教育要領改訂にあたって新たに保育者に期待されていることは何か、現状の保育と比較しながら学びを深めていく。なお、本講習は7月31日開催の必修講習と連続して行うものです。	久保小枝子（和泉短期大学 児童福祉学科 専任講師）	6時間	平成29年7月30日	100人	平29-80012-301669号
大阪府大阪市	このたび、改訂が予定されている幼稚園教育要領には、これまで以上に子どもの学びや育ちをどのように保障するかが盛り込まれると考えられる。その際、幼児教育・保育に関する国際的な研究動向を見据えて、幼児にふさわしい生活や活動を通して、いかに学びや育ちを支えていくか、実践を踏まえながら検討していく。なお、本講習は7月25日開催の必修講習と連続して行うものです。	小田 豊（聖徳大学児童学科教授、関西国際大学客員教授） 鈴木 正敏（兵庫教育大学学校教育研究科准教授）	6時間	平成29年7月24日	100人	平29-80012-301670号
福島県郡山市	本講習は幼稚園教諭を対象とし、学校を巡る近年の状況の変化、学習指導要領の改訂の動向等についてその理解を深めるとともに、今日求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月26日開催の必修講習と連続して行うものです。	賀門 康博（郡山女子大学附属幼稚園園長、郡山女子大学短期大学部非常勤講師） 小林 徹（郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授）	6時間	平成29年7月27日	50人	平29-80012-301671号
宮城県仙台市	本講習では「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿について理解を深める」、「遊びを通しての総合的な指導における教師の役割について」を学ぶ。なお、本講習は7月16日開催の必修講習と連続して行うものです。	小野 真喜子（聖と学園短期大学教授） 東 義也（尚絅学院大学教授）	6時間	平成29年7月17日	100人	平29-80012-301672号
石川県金沢市	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は8月29日開催の必修講習と連続して行うものです。	田中雅道（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長）	6時間	平成29年8月28日	150人	平29-80012-301673号
山形県山形市	本講習では、「幼稚園を巡る近年の状況の変化」「幼稚園教育要領の改訂の動向等」「社会的養護と保育相談支援のあり方」について、最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題の理解を深めることを目指す。なお、本講習は9月9日開催の必修講習と連続して行うものです。	佐久間 美智雄（東北文教大学短期大学部准教授） 下村 一彦（東北文教大学准教授）	6時間	平成29年9月10日	60人	平29-80012-301674号
埼玉県さいたま市	「学習指導要領改訂の動向」：教育基本法の改定以来の幼児教育の充実のための一連の施策と、学校教育をめぐる現状と課題を解説した上で、次期幼稚園教育要領を目指す「幼児期に育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を解説する。「多様化社会の中での保育者の専門性を考える」：多様化の時代の今、子ども園の推進の中で保育携帯も多様化した社会の中、保育者はどう対応していくかを考える。なお、本講習は7月15日開催の必修講習と連続して行うものです。	神長美津子（國學院大学教授） 横山 文樹（昭和女子大学教授）	6時間	平成29年7月1日	100人	平29-80012-301675号
東京都千代田区	「学校を巡る近年の状況の変化」「学習指導要領の改訂の動向等」について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は7月23日開催の必修講習と連続して行うものです。	安達譲（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 研究研修委員会専門委員、大阪教育大学非常勤講師、学校法人ひじり学園せりびじり幼稚園園長） 田中雅道（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長）	6時間	平成29年7月24日	150人	平29-80012-301676号

(株)学研教育みらい 東京都品川区西五反田2-11-8 幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415
フリーダイヤル

園ぴゅう太のメールサービス

サーバー二重化！

らくらくメール

園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール

スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。

ぜ〜んが学研におまかせ!!

心機一転！
リニューアル

オリジナル！
キャラクター
ロゴ

Flashで
動画！

らくらくホームページ

目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にもシステム併用でご対応いたします。

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
京都府 京都市	・栄和人氏、吉田沙保里氏のお話から夢を追い続ける意欲、向上心、人材育成などについて考える機会とする。対談形式で進行は藤本明弘氏で吉田沙保里氏はゲストスピーカーとして扱う。・門田理世氏の講演で保育者の保育指導の方向性を見据えた、子どもたちの経験に見る保育の質を問う。・2日目に黒田秀樹氏の講義からクリエイティブな保育の視点、保育のデザインを事例を通して学ぶ。	栄 和人 (至学館大学健康科学部健康スポーツ学科教授) 藤本 明弘 (公益社団法人京都府私立幼稚園連盟副理事長) 門田 理世 (西南学院大学大学院人間科学研究科教授) 黒田 秀樹 (九州女子短期大学非常勤講師)	6時間	平成29年7月28日	100人	平29-80012-507415号
北海道 札幌市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり取り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	今野 道裕 (名古屋立大学短期大学部児童学学科教授)	6時間	平成29年7月27日	300人	平29-80012-507416号
北海道 札幌市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広め深める」の2つの事項について理解と実践をふり取り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	若林 卓実 (認定こども園あけぼの園長)	6時間	平成29年7月28日	300人	平29-80012-507417号
神奈川県 相模原市	講座A：保育者の専門性を活かした相談支援について検討する。子どもや保護者との日常でのかわりを生かした支援、そして発達検査等のアセスメントや他機関との連携など、心理臨床の専門性にも触れて理解を深めたい。講座B：「音楽表現」が子どものコミュニケーション力の育ちに欠かせないことを確認し、「クラスで取り組む集団活動」等に偏らない、園生活のあらゆる場面で個々の創造的・想像的表現を育む保育の充実を目指す。	矢野 由佳子 (和泉短期大学児童福祉学科学科准教授) 山本 美貴子 (和泉短期大学児童福祉学科学科准教授)	6時間	平成29年8月5日	200人	平29-80012-507418号
長崎県 雲仙市	本講習は、保育者としての専門性を高めることを目的とし、講習①では、ある園の問題提起を通して、講習②では、講義を中心に、「保育実践における遊びの構造と保育者の役割」について学びを深める。	吉田 美恵子 (長崎短期大学保育学科学科准教授)	6時間	平成29年7月27日	50人	平29-80012-507419号
福島県 福島市	幼稚園教諭を受講対象者とする。子ども理解と保護者支援についてカウンセリングマインドを使いながら、親子間、保育者間での伝え方などの理解を深め、幼児期の前後の発達を捉えながら幼児理解を深め、親子支援の在り方について具体的な方法について学ぶ事を目的としている。	高橋かほる (日本女子大学、聖徳大学兼任講師)	6時間	平成29年8月3日	50人	平29-80012-507420号
福島県 福島市	幼稚園教諭を受講対象者とする。東日本大震災及び原発事故以降、自然環境とふれ合う機会の減少に伴い様々な問題が出てきている。講師が実際に足を運んで感じた現地の自然環境の状況について理解を深めながら、自然を感じる保育の工夫や幼児期にふれておきたい自然環境について理解を深め、幼児期における自然環境の大切さについて学ぶことを目的としている。	大澤 力 (東京家政大学教授)	6時間	平成29年12月25日	50人	平29-80012-507421号
宮崎県 宮崎市	興水先生には、世界の保育の流れから見たこれからの保育、子ども理解に必要な乳幼児期の発達的な特徴、保育の質を高める同僚性の職場作りの3つの柱で質の高い保育を目指す保育者となる土台作りについて講義をしていただく。こころの相談室代表である足立明彦先生には、ゲストスピーカーとして、脳科学からみた子どもの多様化/発達の複雑化に関する情報と社会のデジタル化が及ぼす脳への影響をみることで、心理発達に応じた保育・教育及び合理的配慮に関するお話をさせていただく。	興水 基 (学校法人めぐみ学園認定こども園めぐみ園園長)	6時間	平成29年8月4日	100人	平29-80012-507422号
石川県 金沢市	「環境を通して行う教育」の意味を今一度考えたいと思います。幼児の主体性と教師の意図のバランス、遊びを通しての学び等について考察します。環境構成、援助・指導(関わり方や言葉かけ)について教師が自分の保育を振り返り、課題や気づきを得るための機会としたいと思います。	太田 雅子 (聖隷クリストファー大学教授)	6時間	平成29年7月22日	150人	平29-80012-507423号
石川県 金沢市	①何気ない遊びのビデオ映像を用いて、園児の遊びの姿から「幼児期の学び」を読み取り、②読み取った学びを「保育者からの発信」として見える化する、という二つのワークショップで構成する講習です。要領改訂や認定こども園への移行では、保育者は自らの保育、自園の保育の見直しを強く求められます。方法として有効なのが「異なる視点」。保護者との連携や幼小接続と結ばば、他者への発信と応答から自らの保育が見えてきます。	大井佳子 (木の花幼稚園園長、金城大学社会福祉学部社会福祉学科学科子ども専攻教授、北陸学院大学人間総合学部子ども教育学科学科教授)	6時間	平成29年8月30日	150人	平29-80012-507424号
石川県 金沢市	「保育実践に繋がる研修の組み立てとは？」をテーマに、それぞれの園、それぞれの保育者が、やらされているのではなく、自分(自分たち)自身で課題に気づき、高めていく研修の在り方を考える。具体的には、園の課題の明確化、課題解決につながる様々な研修の特徴について、講義や演習を交えて実践的に学んでいく。	開 仁志 (金沢星稜大学人間科学部准教授)	6時間	平成29年8月31日	150人	平29-80012-507425号



バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！

くるんとバス

-通園バス位置情報システム-

いつもNAVI

「いつもNAVI 動態管理サービスfor送迎バス(くるんとバス)」は、株式会社センリンデータコムに登録商標です。

「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットのGPS機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。

 **株式会社チャイルド社** インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15
ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>

広島県 広島市	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領改訂の最新の情報を共有し、これからの保育のあり方を考える。 ・音楽、人形劇、造形など、現場に即した保育技術の向上と知識の獲得をめざす。 ・遊びを通じて自然に親しむことの大切さを学ぶ。 ・ゲストスピーカーとして、金子みすゞ記念館館長であり児童文学作家の矢崎節夫さん、サウンドアートパフォーマー田村祐子さん、なぞなぞ工房杉山亮さん、姫路独協大学客員教授太田篤史さんにご講演いただく。なお、全体のコーディネーターは、比治山大学短期大学部非常勤講師の中丸元良氏が担当する。 	大宮 勇雄（福島大学人間発達化学類教授） 高田 憲治（広島女学院大学非常勤講師） 吉永 早苗（ノートルダム清心女子大学教授） 寺田 喜平（川崎医科大学小児科教授） 菊野 秀樹（比治山大学短期大学部幼児教育科教授） 三樹 正典（広島女学院大学幼児教育心理学科教授） 田中 雅道（公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構理事長） 中丸 元良（比治山大学短期大学部非常勤講師）	12 時間	平成 29 年 8 月 1 日～ 平成 29 年 8 月 2 日	140 人	平 29-80012-507426 号
千葉県 千葉市	本講習は、国公私立の区別なく、幼稚園教育に携わる教諭の多様なニーズに応じた講習、幼稚園教育における専門的な知識や技能の習得、幼稚園教諭としての資質向上のための意識ある講座とするため①現場に生かす幼稚園教育要領について②理想的教育課程作成についてなどを中心に講義等を行います。	加藤 繁美（山梨大学教授） 土谷 みち子（関東学院大学教授（教育学部長）） 鈴木 由美（聖徳大学教授） 砂上 史子（千葉大学准教授） 小川 晶（植草学園大学准教授） 松原 豊（こども教育宝仙大学教授） 森 真理（立教女学院短期大学准教授） 眞輪 潤子（川村学園女子大学准教授） 岡崎 裕美（千葉敬愛短期大学教授） 百瀬 定雄（聖徳大学教授）	6 時間	平成 29 年 7 月 25 日	100 人	平 29-80012-507427 号
栃木県 宇都宮市	幼稚園教育要領の変遷の歴史とその意味 幼稚園教育の基本と小学校以降との繋がり 遊びを学びと伝える時の難しさを克服するために 気になる子の接し方 新制度の目指す所	小林 研介（香亀幼稚園園長、佐野短期大学非常勤講師、栃木県仏教保育協会会長、佐野市子ども子育て会議会長）	6 時間	平成 29 年 7 月 28 日	50 人	平 29-80012-507428 号
埼玉県 さいたま市	「次期幼稚園教育要領改定案にある指導計画の立案と記録と評価」：指導計画の立案と、記録の取り方そして評価について講義する。特に、幼児期の終わりまでに育ち持つ 10の姿と今までの5領域との関連性について詳しく解説する。「環境に関する指導と展開」：次期幼稚園教育要領改定案における幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のうち、「社会生活との関わり・思考力の芽生え・自然との関わり、生命尊重」を基軸に、子どもたちの身近な環境を活用する保育の指導と展開を具体的に学ぶ。	安見 克夫（東京成徳短期大学教授） 大澤 力（東京家政大学教授）	6 時間	平成 29 年 7 月 1 日	100 人	平 29-80012-507429 号
埼玉県 さいたま市	「保育に生かす園内研修」：園の教育活動を評価・改善する営みとして、園内研修が重要である。経験により培われた知識や技術を持ってしても保育の悩みは尽きないもの。日々の保育の充実に向けて、各園の実態に即した園内研修の在り方を考える。「遊びの中の学び」：平成 30 年の幼稚園教育要領改定案では「遊びを通しての総合的な指導」が今まで通り大切なこととされている。子ども自身が主体的に遊び込む中にはたくさん学びがある。その学びを深めるための保育者の役割とは何かを一緒に考えていく。	柿沼 芳枝（東京家政大学准教授） 田澤 里喜（玉川大学准教授）	6 時間	平成 29 年 7 月 8 日	200 人	平 29-80012-507430 号
埼玉県 さいたま市	「子ども理解と保護者相談 - カウンセリングマインドを使って -」：保護者から子どものことを相談された時には、子どもの言動の捉え方を専門性から考え、子どもへの対応について専門家としての助言が必要となる。カウンセリングマインドを実践的に学び、保護者対応に生かせるようにしよう。 「幼児教育の現状と課題」：教育要領改訂の過程で、子どもの育ちの様々な課題が挙げられている。また、多様なニーズや、子育て力の低下を踏まえた保育も求められている。幼稚園で私たちは何をしていたらよいのかを考えていきたい。	高橋 かほる（日本女子大学、聖徳兼任講師） 松本 純子（東京成徳短期大学教授）	6 時間	平成 29 年 7 月 15 日	100 人	平 29-80012-507431 号
佐賀県 佐賀市	乳幼児期、自分の声を聞いてねいに聴きとられ、その声を正當に評価される（扱われる）経験を通して、自分の「心」を育てていく存在である。そんな乳幼児の「心の発達」に対して、保育実践がどのように向き合うことが大切か、発達段階に対応させながら具体的な実践場面を検討する作業を通し、その視点と原理を明らかにしていく点に、本講習のねらいがある。	加藤繁美（国立大学法人山梨大学大学院教授）	6 時間	平成 29 年 7 月 24 日	80 人	平 29-80012-507432 号

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に準じた指導計画

月刊 保育とキャリア

毎月 2 日 発売



ひかりのくに株式会社

本社/〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社/〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表